

# LA VIDA EN MÉXICO~

~メキシコでの日々~

TAKU MINAGAWA Vol.1

## □□はじめに

皆さま初めまして。第46期の研修生として参加している皆川と申します。今回は全体で34名の参加者がいるのですが、参加にあたっては団体代表の任を頂き、メキシコでの研修生活を送っています。参加しているメンバーは年齢が20歳~30代半ばまで幅広く、学生の方はもちろん、社会人として様々な経験を積まれた方々が参加しています。

私は日本で建築士として住宅やホテルなどの設計をしていましたが、学生時代にスペインに留学していた経緯もあり、あらためてスペイン語の習得や、またより深く建築を勉強したいと思い今回の研修に応募しました。



〔46期研修メンバー/出発の成田空港にて〕

## □□メキシコシティでの生活の始まり

こちらに来てからの約1カ月、それは目まぐるしく過ぎる日々でした。渡航してからすぐの家探し(数日の間でメンバー全員が家を決めたのは奇跡とも言えます)、日本との時差や、慣れない高地(標高2200m)での生活、また衛生環境の違いから大半のメンバーが体調を崩していました。そんな時期も今振り返ると既に懐かしいほど、今の生活が充実していると言えます。私はメキシコ人が提供するホームステイを見つけることができ、大家さんとその甥、三人で生活しています。

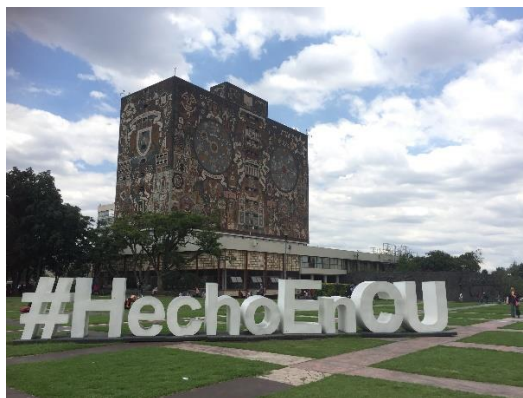


〔ホームステイ先の団地〕

## □□学校での生活

メキシコ国立自治大学(UNAM)のCEPEという語学研修学校でスペイン語やメキシコの文化を学習するのが今の生活の中心となっています。

ここにはアジア、ヨーロッパ、アフリカなど、世界中からスペイン語を学ぶ学生が集まっており、彼らとの出会いも素晴らしい経験の一つです。



〔中南米で屈指の歴史と規模を持つUNAM〕



〔語学研修学校のCEPE〕

# LA VIDA EN MÉXICO~

～メキシコでの日々～

TAKU MINAGAWA Vol.1

## □□食を楽しむ

私たちの日本食はユネスコの無形文化遺産に登録されましたが、同じくメキシコ料理も登録されています。渡航してからはほぼ毎日タコスを食べ生活しており、現在の私の主食となっています。タコスはレストランやどこでも提供されていますが、やはり美味しいのは路上のタコスです。一食 30 ペソ(約 180 円)ほど、具材は豚肉や牛肉を炒めたものに好みのサルサソースをかけて食します。屋台によって提供されるメニューが違うので、行く先々でお気に入りのタコスを見つけるのがメキシコ生活の楽しみの一つです。



【お気に入りのタコス屋】

## □□文化を楽しむ

メキシコには魅力的な文化がたくさんありますが、週末に友人と、日本で言うプロレス“ルチャ・リブレ”を観戦してきました。さすがの本場、一つのエンターテイメントとして完成しており、充実の時間を過ごすことができます。

日本からメキシコに遠征して参加しているプロレス選手もいるそうで、こんな所でも日本とメキシコとの関係の豊かさに気づきました。



【熱狂するルチャ・リブレ】

## □□メキシコシティの治安

日本の友人から良く治安について尋ねられますが、私が思っていたよりこちらの治安は良いです。正確に言うと、治安の悪い場所を避け、常に気をつけて行動していれば日常生活の問題はありません。人々がとても親切なので、いつも周りの人々に助けられながら生活しています。



【発展するメキシコの都市風景】

## □次回に向けて

秋も深まり、これから本格的にメキシコシティも寒くなってきます。生活に慣れてきた頃に体調や生活の問題が起きやすいので、これからも気を付けて生活していこうと思います。次回はメキシコの旅行記や文化レポートをお送りする予定です。